



校長室だより

校長 山崎 聡子

子供の輝く姿

朝、登校して来る子供たちに挨拶をしています。私の目をまっすぐ見て、挨拶してくれる子供たちを見て挨拶を返すと、笑顔も一緒になって返ってきます。嬉しい姿です。

入学してきた1年生の学校生活も本日で1週間が経ちました。入学式では、「朝、挨拶しましょう」と話をしました。恥ずかしそうにしながらも、挨拶を返してくれる1年生の姿に、自然と笑顔がこぼれます。人と人との出会いを経験しながら、一步ずつ成長していくのだなと改めて思います。

1年生に優しく声をかけながら、時に見守りながら関わる6年生が素晴らしい姿を見せています。朝、教室に入る前に手洗いを一緒に行っていますが、1年生のペースに合わせながら行動している姿に優しさや上級生としての頼もしさを感じます。1年生の教室では提出物を出し忘れないように声をかける姿、1年生がランドセルの中に入っている物を机の中にしまう様子やロッカーの中にランドセルをしまう様子をそばで見守っている姿など手を出しすぎず、必要なことは何かを考えながら関わるができる6年生に感心しています。

子供たちのことを早く知りたいと思い、なるべく学校の中を回るようにしています。教室に入るとたくさんの子供たちが声をかけてくれたり、挨拶をしてくれたりします。机から落ちてしまったプリントを拾って手渡すと、「ありがとうございます」という言葉が返ってきます。また、給食の配膳の手助けをした時には「ありがとう」という言葉が返っ

てきたのですが、その言葉を聴いた友達が、「『ありがとうございます』でしょ」とその友達へ優しく伝える姿があり、関わりの中で子供同士が学び合う、すてきな姿も見られます。廊下の掲示物を貼り替えていた時には、通りかかった4年生が掲示物を手渡してくれました。手伝おうと思って手渡した、と話してくれました。温かな思いに感謝です。

「どの子も子どもは星」

みんなそれぞれが それぞれの光をいただいて
まばたきしている
ぼくの光を見てくださいと まばたきしている
わたしの光を見てくださいと まばたきしている
光を見てやろう まばたきに 応えてやろう
光を見てもらえないと 子どもの星は光を消す
まばたきをやめる
まばたきをやめてしまおうとしはじめている星は
ないか
光を消してしまおうとしている星はないか
光を見てやろう まばたきに 応えてやろう
そして
やんちゃ者からはやんちゃ者の光
おとなしい子からはおとなしい子の光
気のはやい子からは気のはやい子の光
ゆっくりやさんからはゆっくりやさんの光
男の子からは男の子の光
女の子からは女の子の光
天いっぱい
子どもの星を かがやかせよう

『東井義雄詩集より』東井義雄記念館

<https://toui-yoshio.org/hana>

何気ない瞬間に見せる、子供たちの輝く姿をたくさん見つけて、一人一人の成長を支えていきたいと思っています。